

院長室

楠岡英雄

【2013 年度研究発表業績】

A-0

Yamasaki Y, Katakami N, Kaneto H, Nakajima K, Kusuoka H, Kashiwagi A, Nishimura T. Improved lipid profiles are associated with reduced incidence of coronary vascular events in asymptomatic patients with type 2 diabetes and impaired myocardial perfusion. J Atherosclerosis Thrombosis 2013; 20(4):330-335 (2013 年 4 月)

Nanasato M, Nakajima K, Fujita H, Zen K, Kohsaka S, Hashimoto A, Moroi M, Fukuzawa S, Chikamori T, Nishimura S, Yamashina A, Kusuoka H, Hirayama A, Nishimura T. Rationale and design of J-ACCESS 4: Prognostic impact of reducing myocardial ischemia identified using ECG-gated myocardial perfusion SPECT in Japanese patients with coronary artery disease. J Cardiol 2014;63(2):159-64 (2014 年 2 月)

Kurihara C, Kusuoka H, Ono S, Kakee N, Saito K, Takehara K, Tsujide K, Nabeoka Y, Sakuhiro T, Aoki H, Morishita N, Suzuki C, Kachi S, Kondo E, Komori Y, Isobe T, Kageyama S, Watanabe H. High rate of awarding compensation for claims of injuries related to clinical trials by pharmaceutical companies in Japan: A questionnaire survey. PLOS ONE 2014; 9(1):1-6. (2014 年 1 月)

Abe H, Masuda K, Asanuma T, Koriyama H, Koretsune Y, Kusuoka H, Nakatani S. Visualization of blood flow in the left ventricular short axis view by echocardiographic particle image velocimetry. Proceedings of the 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, http://embc.embs.org/files/2013/3079_FI.pdf. (2013 年 7 月)

A-1

楠岡英雄：臨床試験と医師主導治験、「CRC テキストブック」第 3 版、日本臨床薬理学会編集、pp.66-72、医学書院、2013 (2013 年 9 月)

楠岡英雄：治験の IT 化－電磁的記録の活用、「GCP ハンドブック第 5 版」、渡邊裕司編集、pp.42-61、じほう、2014 (2014 年 2 月)

中野重行、小林真一、景山茂、楠岡英雄、責任編集：「CRC テキストブック」第

3 版、医学書院、2013（2013 年 9 月）

A-2

楠岡英雄、大道大：医療の評価とは、「新版 医療情報（第 2 版） 医学・医療編」、一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会編、篠原出版新社、pp.21-27,2013（2013 年 4 月）。

A-3

今井圓裕、瀬尾俊彦、平岡久豊、椿原美治、朴孝憲、田内潤、猪阪善隆、佐藤洋、山崎義光、楠岡英雄、瀧原圭子、細井雅之、富永洋一、狭間洋至、仲豊子、片岡隆太郎、福並正剛、浮村聡、堀正二：2 型糖尿病合併高血圧患者におけるロサルタンカリウム／ヒドロクロロチアジド（HCTZ）と ARB 高用量の有用性に関する比較研究、血圧 20(6)：612-618、2013（2013 年 6 月）

山口光峰、近藤充弘、山本学、星順子、清水亜紀、近藤恵美子、大澤智子、田島康則、高崎可奈子、中村悟、城谷真理、宇井英明、瀬戸宏格、青木孝仁、藤岡慶壮、若井修治、渡邊裕司、楠岡英雄：治験関連文書における電磁的記録の活用について、臨床評価 41(1)：209-240、2013。（2013 年 7 月）

津久間秀彦、田中武志、池内実、楠岡英雄、梅里良正、岸真司、土屋文人、大原信、高橋静子、村上典子、松村泰志、小塚和人、石川澄：医療安全の観点から見た医療プロセス電子化の評価、医療情報学 33(4):201-210、2013（2013 年 8 月）

A-4

楠岡英雄：治験活性化：地域ネットワークの活動と今後の展開－大阪と地域ネットワーク 験ウェブ、大阪医薬品協会会報 773:27-35、2013（2013 年 6 月）。

西村恒彦、山崎義光、中嶋憲一、楠岡英雄：わが国発の心臓核医学エビデンス J-ACCESS2 study（2 型糖尿病患者における無症候性心筋虚血の評価）の成果と総括、映像情報 MEDICAL 45(10):796-807、2013（2013 年 9 月）

楠岡英雄：薬剤師への病院の期待、JPEC BULLETIN 研修センターニュース No.237、p.1。（2014 年 2 月）

A-5

楠岡英雄、星順子、高崎可奈子、近藤恵美子、田島康則、大澤智子、山口光峰、中村悟、城谷真理、宇井英明、瀬戸宏格、清水亜紀、近藤充弘、青木孝仁、藤

岡慶壮、山本学、若井修治：治験関連文書における電磁的記録の活用について、厚生労働科学研究補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「医師主導治験の運用に関する研究」（研究代表者：渡邊祐司）平成 24 年度総括・分担研究報告書、pp.43-95、2013（2013 年 5 月）

楠岡英雄、梅里良正、大原信、岸真司、小塚和人、高橋静子、土屋文人、松村泰志、石川澄：病院情報システムに伴い発生したインシデントとその対策、医療情報学 33（Suppl.）:70-71, 2013（2013 年 11 月）

楠岡英雄、是恒之宏、磯部陽、尾藤誠司、堀部敬三、井口東郎、岡田靖、一瀬幸人、海老澤元宏、加藤秀則、谷山清己、石橋大海、八橋弘、武田和憲、尾方克久、山本晴子、織田信弥、富川盛光：国立病院機構病院の「臨床研究に関する倫理指針」の各条項に対する対応状況（平成 23 年度調査）とそれを踏まえた提言、NHO ネットワーク共同研究「国立病院機構における臨床研究基盤の整備状況と今後の課題に関する調査研究」報告書、2013（2013 年 4 月）

B-2

Abe H, Masuda K, Asanuma T, Koriyama H, Koretsune Y, Kusuoka H, Nakatani S. Visualization of blood flow in the left ventricular short axis view by echocardiographic particle image velocimetry. 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 大阪、2013 年 7 月

B-3

楠岡英雄：日本の国際競争力を高めるためにできること ～治験を取り巻く国際動向の変化を踏まえて～ 臨床研究・治験活性化 5 ヶ年計画 2012 アクションプラン、第 13 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議、千葉、2013 年 9 月

楠岡英雄：病院情報システムに伴い発生したインシデントとその対策、第 33 回医療情報学連合大会、神戸、2013 年 11 月

楠岡英雄：治験における電磁的記録の活用、第 34 回日本臨床薬理学会学術総会、東京、2013 年 12 月

B-4

武田和憲、楠岡英雄、山本学、石橋寿子、田代志門、水沼周市：東日本大震災における臨床研究・治験への影響の検証と大規模災害発生時の対応指針の作成、第 67 回国立総合医学会、金沢、2013 年 11 月

石山 薫、森下典子、小野恭子、辻本有希恵、柚本育世、土井敏行、上野智子、三賀森美央、笹山洋子、小森弘未、多和昭雄、是恒之宏、楠岡英雄：臨床研究支援基準の評価、第 67 回国立病院総合医学会、金沢、2013 年 11 月

三賀森美央、小野恭子、笹山洋子、森下典子、石山 薫、土井敏行、上野智子、辻本有希恵、柚本育世、小森弘未、是恒之宏、楠岡英雄：適切な原資料作成のための取り組み－CRA、医師、CRC、3 者による評価－、第 34 回日本臨床薬理学会学術総会、東京、2013 年 12 月

B-5

楠岡英雄：病院長は医療情報システムに何を期待しているか、関西医療情報処理懇談会第 48 回例会、大阪、2014 年 1 月

B-6

古川哲生、篠内和也、坂口大起、三浦弘之、宮崎宏一、濱野剛、北田博一、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、是恒之宏：心不全で発症し、多発性筋炎が判明した 1 例、第 115 回日本循環器学会近畿地方会、京都、2013 年 6 月

篠内和也、安部晴彦、廣岡慶治、古川哲生、坂口大起、三浦弘之、宮崎宏一、濱野剛、小出雅雄、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄：医源性浅大腿仮性動脈瘤に対して超音波ガイド下トロンビン注入療法が有効であった 1 例、第 115 回日本循環器学会近畿地方会、京都、2013 年 6 月

三浦弘之、安部晴彦、廣岡慶治、宮崎宏一、濱野剛、小出雅雄、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄：心エコーを観察できた雷撃傷の一例、日本超音波医学会第 40 回関西地方会学術集会、大阪、2013 年 11 月

宮崎宏一、坂口大起、安村かおり、西田博毅、井上裕之、古川哲生、篠内和也、三浦弘之、濱野剛、小出雅雄、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、安部晴彦、是恒之宏：レートコントロールにより顕著に三尖弁閉鎖不全が改善した心筋症の一例、第 116 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2013 年 11 月

B-7

楠岡英雄：大阪地域治験ネットワーク、探索医療薬物研究会合同シンポジウム第 1 回記念講演会、2013 年 10 月

楠岡英雄：臨床研究を始めるに必要な手続き－臨床研究に関する倫理指針から

一、秋桜会学術懇話会、大阪、2013年4月

楠岡英雄：医療情報の電子化と薬剤の安全な管理 IT化・情報機器部会とその活動について、認定病院患者安全推進協議会 平成25年度薬剤安全セミナー、大阪、2013年5月

楠岡英雄：当院における Gender Equality の取り組み、大阪府医師会女性医師支援シンポジウム、大阪、2013年6月

B-8

楠岡英雄：EBM と臨床研究－1、大阪大学臨床医工学・情報学スキルアップ講座「医薬品の臨床評価の過程：入門」、大阪、2013年8月

楠岡英雄：薬剤師への病院の期待、大阪薬科大学同窓会総会、大阪、2013年5月

楠岡英雄：医療機器にまつわるインシデント事例から、PMDA 科学委員会医療機器部会、東京、2013年10月

楠岡英雄：臨床研究・治験活性化のために 臨床研究ネットワークに対する期待と課題、第1回東北大学病院臨床研究中核病院キックオフシンポジウム、仙台、2013年12月

楠岡英雄：新たな創薬推進体制と連携 大阪地域治験ネットワーク、彩都産学官連携フォーラム2014、大阪、2014年1月

楠岡英雄：医療安全から見た病院情報システムの評価指標、認定病院患者安全推進協議会平成25年度全体フォーラム、東京、2014年3月